

あまくさ



天草剣道連盟広報係 令和8年2月発行

新年挨拶 天草剣道連盟会長 本多徹也

皆さん 明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族おそろいで、輝かしい新年を迎えられたことと思います。昨年は、皆様のご協力のおかげで素晴らしい1年ではなかったかと思えます。特に9月に益城町総合体育館において行われました「第80回熊本県民体育祭熊本市大会」においては、悲願の初優勝という輝かしい成績を上げていただきました。これは高濱監督をはじめとする選手皆さんの大会に向けた稽古とたゆまない努力と、そして、ご協力いただいた皆さんのおかげだと深く感謝申し上げます。



また、加えて、平田前会長、鶴戸常任理事等のご尽力により武道館に空調設備が整備され、酷暑の暑い日が続く中、熱中症の心配もすることなく快適な環境で稽古できたことも要因の一つだと思います。

また、12月には、初めての試みとして、人吉において人吉球磨剣道連盟との交流会も実施させていただきました。こどもたちの練成会、一般の先生方との稽古会、そして、夜の懇親会と大変有意義な交流会ができました。今年は、天草の方で開催したいと考えていますので、その節には会員の皆様におかれましては参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、本年は60年に1度巡って来る丙午(ひのえうま)の年であります。火の上に火が重なるように、これまでの努力が飛躍的に実を結び、新たな挑戦が結果に繋がる、情熱と力強さに満ちた年と言われています。この勢いを力に、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。特に、熊本県民体育祭の連覇、そして、天草の剣道人口の底辺拡大と天草剣道連盟の更なる飛躍のため、この1年よろしくお願いいたします。結びに会員の皆さんがこの1年、健康で楽しく剣道を続けていただきますことを祈念して新年のご挨拶といたします。

令和7年度天草秋季剣道大会

令和7年10月20日(日)稜南中学校体育館を会場に天草秋季剣道大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。結果は以下の通りです。おめでとうございます。

学年	優勝	優秀選手賞	2位	3位	3位
小学4年以下	天武館A	高濱龍心	鍛錬会A	二江少年剣道クA	栖本少年剣道クA
小学5・6年	鍛錬会	香月真子	牛深少年剣道ク	天武館	河浦剣道クラブA
中学生	河浦剣道クラブ	城下尚平	栖本中A	稜南中A	本渡中



(天武館A)



(鍛錬会)



(河浦剣道クラブ)

令和7年度 天草剣道連盟 女子剣道講習会



令和8年1月31日(土)に天草市立有明中学校体育館において女子剣道講習会が行われました。今年で3回目となりますが、本年も熊本県剣道連盟副会長:三嶋久美先生を講師(同剣道連盟講師補助含む)として女性を対象とした剣道講習会が開催されました。講師の先生から、身体、気持ち、で攻めるなどのお話があり有意義な講習会となりました。

牛深支部 橋口貴文 会員のコメント（写真:中央）

この度、剣道七段に合格することができ、身の引き締まる思いです。稽古をしてくださり、指導して下さった先生方、叱咤激励をもって励まして下さった先生方に、心より感謝申し上げます。

今回の審査に挑むにあたり、技術だけでなく心の在り方を考えました。不合格だった審査を振り返ると、相手を見て迷いが生じるなど、自分の悪い部分である「心の弱さ」が出ていると感じていたからです。強い気持ちを持つこと、集中すること、自分が今までやってきたこと、指導してもらったことを意識し審査に挑んだことで、稽古してきた技を迷いなく打ち切ることができ、結果につながったものと思います。なかなか合格できず、心がバツサリと折れたこともありましたが、稽古の時から「三人とも合格するぞ」と繰り返し鼓舞してくれた同級生二人が折れた心をつなぎ合わせてくれ、また、その言葉どおり三人とも合格できたことは、最高の結果となりました。

七段合格は確かに嬉しくありますが、自分の実力不足を感じたのが正直なところです。ここで終わりではなく、まずは七段に相応しい剣道ができるよう技を磨くことはもちろん、礼儀作法、沈着さと集中力といった剣道の精神性をさらに深く学び、今後さらに上を目指していけるよう精進してまいりますので、今後とも変わらぬご指導の程、宜しく願いいたします。

牛深支部 福本高志 会員のコメント（写真:右）

まず、自分の受験番号を見た瞬間は、喜びと安堵が入り混じった複雑な感情でした。特に、一緒に受験に来ていた二人の発表が先にあっており、二人の合格を目の当たりにしていたからです。まずは、二人におめでとう。次は、自分の発表だが。。。自分の事なので、他人の合否がどうこうという訳では無いのですが、帰りの道中(同じ車)の事を想像すると何とも言えない気分で発表を待っていたのを覚えています。手応えはあった。しかし、これまでも結果はついてこなかった。何度も受験すると、過去の悪い結果が頭を過るものです。ただ、今回は良い結果となりました。しかも、一緒に行った3人皆が合格するという、これ以上の無い、良い結果です。

七段を受験して思うところは、体力の向上や技術の成熟はもちろんですが、審査に臨むために、時間をつくって稽古を行い、審査に落ち、反省してまた稽古に励む。この経験が人生を豊かにしてくれたと感じます。また、一つの目標があったため、充実した生活が送れていたなと感じています。ただ、ちょっと落ちすぎましたね。七段という段位は、技術的な完成度だけでなく、精神的な成熟や礼儀、剣道に対する深い理解が求められ、剣道の本質を理解すると共に、剣道の魅力を伝える役割も必要になってくるかと思えます。これからは、さらなる向上を目指して自己研鑽に取り組み、その過程で得られる経験や出会いを大切に、剣道を通じて人間的にも成長していきたいと思っています。

最後に、このような結果、この様な経験ができたのは、これまで稽古を共にしていただいた皆様や天草剣道連盟の先生方のお陰です。そして、これまで何度も審査に挑み、一緒に合格できた2人(1人は1発合格ですが)には特に感謝しています。今後も自己の剣道の修練に励み、剣道の魅力を伝えていけるよう努めて参りたいと思いますので、引き続き宜しく願いいたします。